

令和8年第2回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和8年2月5日(木)
開 会 13時30分
閉 会 15時30分
場 所 横田庁舎 2階 第一会議室
出席委員 福田教育長職務代理者 谷尻教育委員 松崎教育委員
小林教育委員

委員会事務局 高尾教育魅力課長、石原文化スポーツ振興課長、中林課長補佐、藤原指導主事

教育長

○教育長諸般の報告

○1/30 令和7年度第4回県・市町村教育長会議・学力育成会議

・第2期しまねの学力育成プラン「令和8年度重点アクション」について
「令和7年度重点アクション」の項目を継続しつつ、さらなる取組強化を目指し、
学校経営方針や自己目標シート等への関連付けを行ってほしい旨の説明を受けま
した。

○教職員の「働き方改革」へのご理解ご協力への感謝のメッセージ

2月7日の新聞の広告欄に掲載予定にしています。あわせて奥出雲町のホームペー
ジでも公開を予定しています。学校だより等活用していただきたいと思ひます。

参加者4名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 小林委員

報告事項 令和7年度出雲教育事務所との情報交換について

※資料により説明

事務局

1月28日出雲教育事務所から指導主事などに来庁いただき、情報交換を行いました。

○児童生徒の一人一台端末活用について

・町の予算で導入しているデジタル教材

- ・小学校全学年 タブドリ（算数のみ）
- ・小学校3年生以上 テラトーク
- ・中学校全学年 キュピナ（主要5教科）

デジタル教材の導入などにより、町内での端末機器の活用は年々増加していますが、学校間の活用頻度の差は変わらないように感じています。そのため、授業や家庭学習における工夫等を引き続き学校へ働きかけていこうと考えています。

○小学校理数教科指導向上プロジェクト

今年度から県の事業として全国学力・学習状況調査で課題のあった教科・領域の問題に児童生徒が取り組める「百問繚乱」というデジタル採点システムが導入されましたが、県内での活用が不十分であると報告がありました。校長会等を通じて具体的な活用方法等を示しながら提案していきたいと説明をしました。

○教職員の ICT 機器の活用

国が毎年行っている「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」では、中学校において県内でもトップクラスに活用率が高い自治体の1つという評価を受けています。しかし、自己評価であるため、今回の結果を受けつつ今後も活用に取り組んでほしいと考えています。

○たつじんテスト

来年度から CBT（コンピュータを使用して実施する試験形式）と PBT（紙を使用して実施する試験形式）を選択できるようになるため、県から方針が示されたのち、それを受けて本町として決定したいと考えています。

○不登校・不登校傾向状況

第Ⅰ期（1学期）と第Ⅱ期（2学期）を比較すると小中学校ともに不登校児童生徒が増加しています。しかし、これは、第Ⅰ期の時点で不登校の定義である「年間欠席数が30日以上」に該当していなかった不登校傾向のある児童生徒が第Ⅱ期に入ってこの定義に該当したためではないかと町では分析しています。今後、第Ⅲ期（3学期）にかけて不登校の定義に該当するおそれのある児童生徒に対して支援を行うように各学校に対して要望をしています。

○特別な支援のための非常勤講師の配置について

- ・にこにこサポート事業（通常）

今年度の通常学級における非常勤講師（にこ通）は、希望のあった三成小学校と横田小学校に各1名ずつ、合計2名配置しています。来年度は、横田小学校と新設校である仁多小学校から希望が出ているため、現在、申請準備をしています。

- ・にこにこサポート事業（特別支援学級）

特別支援学級における非常勤講師（にこ特）の配置条件は、7人以上の特別支援

	<p>学級の設置であるため、今年度、町内で該当する学校はありませんでした。しかし、来年度は、横田小学校及び仁多小学校の自情学級がこの条件に該当する可能性があるため申請準備を行っています。</p> <p>非常勤講師の配置は、3月中旬ごろに県から結果が通知される予定です。</p>
教育長	<p>質疑等はございますでしょうか。</p>
小林委員	<p>後期学校訪問の際、横田小学校長からたつじんテストは非常にレベルが高いと聞いています。このことについて、どのような対策を考えていますか。</p>
事務局	<p>このテストの開発者である今井むつみ先生は、対象学年を小学校2年生以上としています。しかし、各学校で受検する学年を選択することができますので、来年度以降も各学校で実情に合わせて適切な学年を選択していただければと考えています。</p>
教育長	<p>今年度から本格的に実施された試みですので、慣れも必要ではないかと思えます。このたつじんテストは、子どもの学力を測るものではなく、子どもが躓いている分野の把握や授業改善の指針として活用することが趣旨のため、今後、そのように活用してもらえればと考えています。</p>
福田委員	<p>サンプル問題を解いてみましたが、問題を理解するために求められる読解力が高いため難しいと感じました。私個人としては、きちんと問題文を読み取れるようになるのは、5年生、6年生以上、早くても小学4年生以上ではないかと感じました。ですが、読解力を高める訓練になると思いますので、教員の方には、子どもたちができるだけ早く受検できるように協力をしてもらえればと思います。</p>
谷尻委員	<p>以前、たつじんテストの研修会に参加した際、問題を理解できないため解けない子どもが多いと聞きました。そのため、ある程度の読解力が身につくであろう小学4年生以上を対象にした方がいいと私も思います。奥出雲町では、どのような基準で受検する学年を決めているのでしょうか。</p>
事務局	<p>県から提供された資料や県のポータルサイトにアップロードされているたつじんテストの問題などをもとに学校ごとに受検する学年の希望を出してもらうようお願いをしています。</p>
福田委員	<p>各学校、管理職だけで受検する学年を決定するのではなく、管理職を中心に教職員全員で受検する学年を決定するような体制にしてもらえればと思います</p> <p>承認第1号 教職員人事異動内申について（非公開）</p>

事務局	<p>○その他連絡事項</p> <p>・「奥出雲町立小中学校教職員の働き方改革プラン」素案について ※資料により説明</p> <p>本町では、令和2年11月に第1期「教職員の働き方改革プラン」が策定されました。現在、国から第2期「教職員の働き方改革プラン」策定の方針が出され、県でも令和8年3月を目途に策定の準備が進められています。本町でも第2期「教職員の働き方改革プラン」策定の必要があると判断し、県から提供された素案をもとに本町のプランの素案を作成しました。このプランの取組期間は、令和8年度から11年度の4か年としています</p> <p>第1期とは異なり、総合教育会議での承認が必要なため、3月の定例教育委員会と日付を合わせて開催される予定になっており、事前にプランの修正等を行う必要があります。そのためご意見等がございましたら3月6日までに事務局に連絡をお願いします。</p>
事務局	<p>○部活動の地域展開</p> <p>現在、女子バレーボール部は、平日2日を中学校、土曜日を含むその他の日を地域クラブで指導を受けています。しかし、働き方改革に伴い、中学校での指導が難しくなるため、改めて地域クラブ、保護者、学校で協議を行いました。その協議で地域クラブ及び保護者の方から引き続き中学校でも指導をしてほしいと要望があったため、小中学校の教職員の兼職兼業規則等を整備し、クラブの要請等、必要に応じて時間外で指導ができる体制を整備していく方針で進めています。4月以降の体制としては、規則等が整うまでは現在の体制を続け、整い次第、時間外での指導へ移行する予定にしています。</p> <p>今後、他の部活動でもこのような問題が出てくると予想できるため、引き続き検討をしていきたいと考えています。</p>
事務局	<p>○郡陸上大会</p> <p>これまで小学校体育連盟の大会は、毎年5月に町内の小学校対抗で行われていましたが、再編統合により来年度から小学校が2校になる関係上、教職員の人数が減り、役員の不足が起こるため、開催が難しくなります。しかし、学校から子どもたちの体力向上等の面から大会を続けたいという要望が挙がったため、来年度以降、郡陸上大会と合わせて開催する方向で調整を考えています。</p>
谷尻委員	<p>何月の開催を考えていますか。</p>
事務局	<p>仮校舎等の撤去の関係で仁多小学校のグラウンドがしばらく使用できないため、来年度は10月の開催を考えています。再来年度以降は、5月の開催を考えています。</p>

< 次回定例会は3月18日（水）午後 15時00分から（予定） >

会 議 録 署 名

署名委員

小林 勝吾

教育長

川本 健二